

先月時点、首相も「承知せず」

安倍晋三首相は十四日の衆院予算委員会で、防衛省が当初は廃棄したと説明していた陸上自衛隊の南スーダン国連平和維持活動(PKO)の日報を一転して開示した問題を巡り、一月の衆院本会議で日報は適切に管理されていたとの考えを示したことに関し「電子的に(記録が)残っているかどうかは、まったく承知していません」と述べた。防衛省は昨年末には日報の電子データの存在を把握していたため、野党から関連質問を受けていながら、首相に知らせなかったことになる。

予算委で民進党の辻元清美氏は「既に見つかっている日報を隠蔽し、首相答弁をつくったのか」と質問。稲田朋美防衛相は「そうした点も含め再探索し、経緯の事実関係はしっかりと検証と調査をしたい」と述べた。